

平成28年5月15日

厚生労働省障害福祉課
全国社会福祉協議会
全国身体障害者施設協議会
熊本県身体障害児者施設協議会
熊本県障がい者支援課
熊本市障害保健福祉課

御中

熊本県身体障害児者施設協議会
会長 三浦 貴子
(愛隣館)

熊本地震における支援等の状況報告について（16号）

5月10日～5月14日の報告をします。

支援協力者一福岡県千歳療護園：浦塚さん・嶋さん・栗田さん・田中さん・佐藤さん・大山さん・永松さん・岩佐さん・谷さん・大内田さん・海田さん・日野さん、陽だまりの里：土谷さん・高山さん・藤井さん・江見さん・本廣さん・梶原さん、慈久園：荒木さん・吉田さん・諸藤さん、菊池園：柳さん・酒井さん・山内さん・井上さん・西本さん・月俣さん、たまきな荘：上田さん・竹下さん、瑠璃光苑：山下さん・谷さん、鹿島療育園：蒲原さん・森本さん、ベトナム育英会：川崎さん・横地さん、山鹿市ボランティア連絡協議会：本田さん・石貫さん・池田さん・星子さん・古家さん、山鹿市観光協会：川口さん・西本さん、寿三ホテル：松岡さん・豆塚さん、地域ボランティア：松本さん・星子さん・大田黒さん。

物資等の受け取り

- ・佐賀県、青い鳥保育園より水・食料等
- ・はんしん自立の家よりお菓子

物資等の配達

- ・相談支援専門員協会（支援活動用） ← 愛隣館
- ・熊本福祉工場 グループホーム 第5次 ← 菊池園・愛隣館
- ・くまむた荘 第7次 （来館）
- ・高層マンション高齢者グループ 第3次（水） ← 菊池園・愛隣館
- ・益城町商工会倉庫避難所 ← 愛隣館
- ・小規模多機能型居宅介護事業所（福祉避難所） ← 菊池園・愛隣館
- ・温泉リフレッシュ支援事業協力機関 ← 菊池園・愛隣館
- ・ゆめの里 第6次 （来館）

ご協力まことにありがとうございました。

【活動と現状について】

（1）会議報告

- ① 5月12日、熊本県身体障害児者施設協議会施設長会議（熊本県総合福祉センター）24施設中22施設が出席して開催できました。会員施設利用者、職員が1人も欠けることなく、施設長方も当初の危機を乗り越えて再会できたことが何事にもかえがたく嬉しい会議となりました。

被災の大きかった8施設から被害状況と現状の課題をそれぞれ報告して頂きました。(別紙参照)

尚、会員施設支援金と当協議会口座に寄せられた支援金1,436,187円から、最初の見舞金を被災施設に送ることが承認されました。甚大な被災3施設に10万円を、大きな被災5施設に5万円を届けます。

② 5月13日、13時半、九州障害者支援施設協議会理事会 (ホテル日航熊本)

日野会長はじめ、物資を自ら届け、危機を救って下さった各県会長と理事にお礼と報告をしました。又、くまむた荘への人的支援に際し、介護職員等派遣マッチング事業とのすり合わせをはかっていくことを協議いたしました。

③ 5月13日、15時半、九社連身体障害児者施設協議会委員会 (ホテル日航熊本)

県内会員施設の現状を報告し、九州児者協にできる支援を検討しました。各県会長に電話承認で始めた入浴支援・温泉リフレッシュ事業の経過を説明し、賛同と継続協力を頂くことになりました。

(2) 人的支援

- ・くまむた荘から2名の支援員が物資の受け取りに来られ、人的支援を受けて助かっている事、水とガスが復旧する前に、かまどで支援水を焚き、利用者の清拭をしたことなどを話されました。

(3) 被災地支援

山鹿温泉リフレッシュ支援事業は、避難所等との利用調整・協力団体との連絡調整、食事の用意、後片付け・送迎・洗濯代行支援・入浴の見守り(全介助の方は施設の浴室へリレー)・子どもたちのケアなど、それぞれのパートを様々なボランティアが支える事業となり、その連絡調整と実施の際の核を愛隣館が担っています。綿密な連絡調整が必要です。

4月30日から、水曜と土曜に2団体ずつ(マイクロバス2台)を、別々のホテルで受け入れ、4月14日現在、事故なく行えています。また、参加者から「良いお湯で生き返った」「料理がおいしい」と好評を頂き、力になっています。

4月14日の地震から1ヶ月、再開したばかりのホテルでの会議となり、九州の皆さんに余震も経験させてしまいました。そんな中、厚労省から福祉医療機構への出向の道躰さんにもお訪ね頂き、励まされております。ありがとうございました。

(連絡先) 障害者支援施設愛隣館

TEL : 0968-43-2771

FAX : 0968-43-2793